

市民意見
砂川市がめざす まちの姿

募 集 結 果

令和元年 7 月

北海道 砂川市

市民意見 私が思う『砂川市がめざす まちの姿』の募集結果

1 目的

今後10年間の砂川市がめざすべき姿を検討するにあたり、市民のみなさんと行政と一緒に考え、共通の目標に向けた協働のまちづくりを進めていくために、市民の皆さんが考える“砂川市がめざす まちの姿”についてご意見を伺い、総合計画の基本構想を策定するうえで参考にするために実施しました。

2 募集内容

テーマの『砂川市がめざす まちの姿』について、「将来のめざす姿」と「その理由」を募集しました。

3 募集方法

6月15日より市ホームページで意見募集を行うとともに、広報すながわ6月15日号に応募用紙を折り込み、市内全戸配布し、郵便、ファックス、Eメールで受け付けたほか、公共施設（市役所、公民館、地域交流センターゆう、SuBACo）に意見箱を設置し、応募を受け付けました。

4 応募対象者

砂川市に在住、在勤、在学されている方

5 募集期間

令和元年6月15日（土）から7月12日（金）まで

6 募集結果

応募者数 10名

応募件数 10件

▼応募の方法

方 法	件数
FAX	5
メール	2
応募箱（市役所）	0
応募箱（公民館）	1
応募箱（地域交流センターゆう）	2
応募箱（SuBACo）	0
計	10

▼応募者の構成

	男性	女性	計
10歳未満	0	1	1
10代	0	1	1
20代	0	0	0
30代	0	1	1
40代	1	0	1
50代	0	0	0
60代	1	1	2
70代以上	4	0	4
計	6	4	10

▼応募意見の分野別件数

分 野	件数
まちづくり全般に関すること	7
産業振興	1
都市基盤	1
その他	1
計	10

※応募意見の分野が複数にわたる場合は、「まちづくり全般に関すること」として集計しました。

7 応募意見の内容（別紙一覧のとおり）

- まちづくり全般 3ページ
- 産業振興 5ページ
- 都市基盤 6ページ
- その他 7ページ

ご応募いただいた意見は、原文を掲載していますが、特定の個人や団体が記載されたものは、表記していない場合があります。また、意見の文章をわかりやすくするため、趣意を損なわない程度に補足や誤字訂正などを行っている場合もあります。

◎ まちづくり全般

	砂川市がめざす まちの姿	理 由
1	温泉施設 (特に高齢者が利用しやすい)	<p>現在、近隣市町、滝川、美唄、上砂川町から週1回温泉の送迎バスが来て、宮川団地からも高齢者が利用しています。市営団地にも1軒ごとに風呂はありますが浴槽が高く、全体的にせまい。また、改装も見込めない。 老人が風呂に入りゆっくりと話し合える場所が欲しい。また、軽い運動器具も欲しい。老人が少しでも健康で長生き出来る施設が必要だと思う。</p>
2	<p>駅、病院、市役所、高齢者住宅、保育所(ゆう)等を中心に一年を通して子どもから老人までが安全で安心して住める様なコンパクトに集合した町をつくる</p>	<p>1. 少子化で働く母親も増えている為、保育所の充実 2. 高齢化～歌志内線のバスがなくなった事で買い物や病院通院が困難になった。冬も除雪等とても困難である。 3. 子どもや老人(高齢者)の見守りも(各町内だけでは限界だ)可能となる。 4. コンパクト型の町にする事で冬の除雪費の節約が出来る。</p>
3	心癒す医療のまち	<p>1. 砂川市立病院を中心に個人病院がもっと開業し易いように市として優遇できる条件を整える(個人病院を増やす)。 2. 健康に不安を持つ人達や学生がもっと砂川に来るようになると、JRの利用者も増え、将来的にも特急が停まり、駅のエレベーター設置も可能に。 3. 高齢化が進むと、病院だけではなく、施設等でも作業療法士が不足するので、看護学校と並用して作業療法の学校を作る。 4. 砂川高校の単位制を活かして看護や作業療法に必要な授業を行う。 5. 砂川駅前の公園に四季咲きのバラを植えて、駅に降り立つ人の心を癒す。</p>

◎ まちづくり全般

	砂川市がめざす まちの姿	理 由
4	高齢者が元気で健康のまち	屋根付きの年間通して利用できる「プールの設置」及び「テニスコートの設置」。道内各地から利用客が来て経済効果があり、特にプールは、リハビリ、疲労回復、脳の活性化、うつ病状の軽減、心疾患や生活習慣病予防・改善、運動不足解消など利点がある。テニスコートは現存で屋根を付ける。（太陽光及び北電の湯水等で暖房）
5	個性を生かし周辺市町と共存するコンパクトなまち	現在の人口減少率を考えると、単独の自治体運営には無理があると思いますし、住民への的確なサービス実施が困難だと思います。 一方で、砂川という特徴があるまちは空知ではあまりないのではないのでしょうか。 そこでまずは、①視点を広く持ち周辺市町村と共同で自治を目指していく。 現在の水道事業や奈井江町などの（介護保険）空知中部広域連合のように、「できる限り」周辺市町と共同で事業を運営し、住民サービス向上に努めていきたい。（かもい岳スキー場の共同運営なども？） ②砂川の個性（市立病院やスイーツやこどもの国、ソメスetc）を内外へ発信。 郊外に商業者が流出するのではなく、駅周辺にまとまっているまち＝高齢者やあらゆる世代に使いやすいまちを期待します。 まず、駅の橋上駅舎化を市がイニシアティブをもって推進。駅が現状のままでは駅前施設を作っても意味がないと思います。順序が逆です。特急停車駅でEVがないのは砂川ぐらいです。
6	犯罪が少ないまち	飲酒運転や事故を減らしたいから
7	子育てしやすく、他の市町村が砂川市の子育てサポートがうらやましい！と思えるまち （人口アップ＝流れ出ないよう、入ってくるように）	子は宝物。子は将来砂川を、北海道を、日本を支える人になる。子を育てるママは、このように重要な人材を育成をしているのだから、それに対してもっともっと支えがほしい。家賃や水道料金が安い！市立病院だけ立派ではダメ。個人病院や食育、花育の充実を。市内で外食するにも子にやさしくない。 （お座敷がない、メニューがない、トイレが狭いなど） こどもの国の整備も良いが、もっと身近な公園の整備もしてほしい。学力UPよりも人としての育成に力を入れてみては。 「まんまる育児」も市で導入してほしい。1歳半～3歳検診の間も検診がほしい！中学生までの医療費も、全額でなくて良いので、もう少し免除してほしい。まだまだいっぱいサポートしてほしいことがあります！ でも、子育て支援センターの行事や先生方はとてもステキですので、もっとアピールしたらいいと思う！まわりの通勤族の方も砂川のサポート良いねって言っています。

◎ 産業振興

砂川市がめざす まちの姿	理 由
<p>『市内中心部に、人がたくさん集まる活気のあるまち』</p> <p>ステップとして、</p> <p>1 (1) 砂川市および近隣の人が集い、その方達に中心部に足を伸ばしてもらえる仕掛け作り。それが軌道に乗ったら、</p> <p>(2) 観光客をターゲットに発信を行う。</p>	<p>砂川市の人口が25年後に半減近くなるという予測結果があります。しかも20～50歳代の市を支える年代が40%から30%になり、60歳台以上が50%から60%に増えます。全国の水準を下回る率で推移し、憂慮されます。</p> <p>20～50歳代の減少は、市の税減収に繋がり、福祉の切り捨てなど市民生活の圧迫に繋がります。</p> <p>市民からの税収減の対策として、砂川市が潤うための施策として、観光客の誘致を目標としていただきたいと考えます。</p> <p>現在、観光拠点となっているのは、ハイウェイオアシスと子どもの国で、そこから砂川市内中心部への観光客の誘導が出来ていない実情があります。スイトロードという有望な資源がありますが、誘導施策としてはそれだけでは弱いと思います。</p> <p>他の資源として、オアシスパーク・北光公園などがあります。</p> <p>そこで開催するイベントで今以上に集客効果を上げることが大切です。そのイベントで市内中心部近くまで来られた方を、そのまま帰さず、お金を落としてもらえ商店街への誘導をするべきではないでしょうか。</p>

◎ 都市基盤

	砂川市がめざす まちの姿	理 由
1	老朽市営住宅に住み心地？ 毎月団地巡視して思う中で	砂川市に引っ越して6年目を過ぎますが、環境の良い街としては淋しい所があります。市営住宅に入居しましたが、老朽化が進み、空き部屋が増え、入居者もなく、人口減少が進んでいます。この先の将来像をどのように考えているのでしょうか？ 建物と建物内の空間は雑草地となり、冬は屋根雪からの大雪で暗い。地方から団地に入居したくても、すぐ入れない現状も見受けられます。

◎ その他

	砂川市がめざす まちの姿	理 由
1	地震をなくしたらいい	